

職場体験事業

地域で支えよう「町田っ子」の未来探し



教育委員会では、本年度も市立全中学校2年生約3100人を対象に職場体験事業を実施します。6年目を迎えるこの事業も、市内の各事業所をはじめ、多くの方々のご支援があってこそ推進することが出来ます。今年度は昨年度同様3期に分けて実施し、第1期は9月13日(月)から始まりです。

中学生にとってこの連続5日間の職場体験は、働くことと学ぶことの意義について理解を深める貴重な未来探しの機会となります。また、社会の一員としてマナーやルールを身に付けたり、将来の職業や自分の進路について考えるきっかけとなるものです。職場体験実施後に保護者を対象に行ったアンケートでは、「親子で職業や将来のことを話す機会が増えた。」と回答される保護者が多く見られました。また、受け入れ先の事業所からも、「職場体験を通して、生徒たちの取組

が大変積極的で、中学生に対する見方が変わった。」という意見もいただきました。生徒が自分の可能性を発見し、たくましく生きる力を身に付けることができるよう、今年度もご理解・ご協力をお願いいたします。

2010年度〈実施日・実施校一覧〉

【第1期】9月13日(月)から17日(金)まで〔9校〕
本町田中学校、鶴川中学校、鶴川第二中学校、真光寺中学校、忠生中学校、木曾中学校、小山田中学校、堺中学校、武蔵岡中学校

【第2期】11月22日(月)から26日(金)まで〔6校〕
町田第一中学校、町田第二中学校、つくし野中学校、南成瀬中学校、薬師中学校、山崎中学校

【第3期】1月24日(月)から28日(金)まで〔5校〕
町田第三中学校、南大谷中学校、南中学校、成瀬台中学校、金井中学校

【小学校】

月	日	曜日	小学校名
6	22	火	町田第五
	23	水	町田第二
	24	木	町田第三
	25	金	藤の台
7	29	火	本町田東
	5	月	大戸
	7	水	成瀬台
	8	木	町田第一
	9	金	町田第四
9	12	月	つくし野
	13	火	高ヶ坂
	14	水	町田第六
	15	木	成瀬中央
	16	金	南成瀬
	9	木	南大谷
	13	月	南第二
11	14	火	小川
	17	金	鶴間
	21	火	南第一
	22	水	南第三
	28	火	南第四
未定	25	木	南第一
	26	金	南第一
			大蔵

【中学校】

月	日	曜日	中学校名
6	21	月	成瀬台
	25	金	木曾崎
7	2	金	山崎
	5	月	金井岡
	6	火	武蔵大谷
	9	金	南鶴川
	10	土	鶴川第二
3	12	月	忠生
	23	金	本町田
	7	月	南大谷
	10	木	南成瀬

※セーフティ教室の日程については、変更されることもあります。参加を希望される場合には、直接学校へご確認下さい。また、セーフティ教室の詳しい内容についても、各学校へお問い合わせ下さい。なお、上記の表に掲載のない学校については、すでに実施されました。

環境教育を推進しています。町田市において、より良い環境教育を行っていくためには「連携」と「共働」が重要なキーワードと考えます。そこでこの環境教育に積極的に取り組んでいる学校の中から、大戸小学校、武蔵岡中学校の取組について紹介します。

両校は町田市西部の豊かな自然環境を活用し、地域の方々の協力を得ながら、ごみ問題や、大地沢の自然保護など身近な環境にかかわる課題に取り組んでいます。

●環境教育（大戸小学校全校・6年生）

昨年校庭に天然の芝生が搬入されました。地域の方の協力も得ながら芝生は元気に育ち、子どもたちは裸足で芝生の上で遊んでいます。

環境学習の一環として、NPO法人ネイチャーセンターリセンの岩間美代子先生をゲストティーチャーに迎え、「校庭と私たちの生活のかかわりを考えよう～校庭の樹木と二酸化炭素の吸収量～」というテーマで学習をしました。校庭に寝そべり、校庭の風・光・水・土・生き物に触れて、自分達が6年間過ごした校庭の魅力を改めて感じる事ができました。



●野外調査（武蔵岡中学校1年生、2年生）

学校周辺の自然環境に恵まれた地域をより深く知るために首都大学東京勤務の川本秀雄氏を招き、大地沢に分布する植物の観察・調査をしました。特に春の野山のスマシロクサやイチリンソウなど、この時期に咲く草花について詳しく説明を受け、生徒は写真撮影やメモをとるなどの調査をしました。学校から徒歩で行くことのできる素晴らしい自然の中で学習ができることは自慢のひとつです。環境保護の重要性について学ぶことができました。



環境教育の推進

●ふれあい広場とビオトープ（大戸小学校）

大戸小学校のふれあい広場には、ユキとココという2匹のやぎがいます。飼育委員会が中心となって、全学年の児童が毎日交代で飼育小屋の掃除をしたり、えさを食べさせてあげたりして「ふれあい活動」を行っています。

また、ふれあい広場に隣接しているビオトープには、おたまじゃくしやアメンボがいます。理科の授業では、顕微鏡を使って観察をしています。



●地域の木材資源の活用（武蔵岡中学校）

学校と地域の方の協力で大地沢より切り出した杉の原木を製材しました。製材した木材は、技術の授業で教材として活用します。現在どの様に活用するか様々な製品を試作しており、写真のように、自然の素材をそのまま生かした良い作品もできました。完成した作品は近隣の相原保善会、相原幼稚園、デイホーム「相原まゆり会」等に寄贈しました。



セーフティ教室

～家庭・学校・地域で子どもたちを守ろう～



子どもたちの安全を守り、子どもたちが、明るく、元気で楽しい学校生活を送ることができるように、市内すべての小・中学校においてセーフティ教室を開催します。

全国的に、不審者によって子どもたちが犯罪に巻き込まれる恐れのある状況が続いています。また、近年では薬物使用の低年齢化が大きな社会問題として取り上げられるなど、子どもたちは、常に犯罪の被害者や加害者ともなり得る状況にあります。

町田市では、2005年度からすべての小・中学校でセーフティ教室を実施しています。子どもたちの非行・犯罪被害防止を目的として、飲酒・喫煙防止、薬物乱用防止、万引き防止、インターネット・携帯電話等のハイテク犯罪・防犯、連れ去り・性被害防止等につながる悪い誘いの断り方などの内容を取り上げています。

セーフティ教室は二部構成になっています。第一部では「非行・犯罪被害防止の学習」として、警察署職員などの関係機関の協力を得て、子どもたちの非行防止や犯罪被害に遭わないための学習を行います。この学習は、児童・生徒だけでなく、保護者や地域の方々も参加いただけます。

第二部は、保護者や地域の方々、関係機関の担当者などが参加して、「意見交換会」を行います。会場において、学校・家庭・地域社会・関係機関等が連携し、非行や犯罪被害から児童・生徒を守るための具体的な取組について意見を交わし、検討します。

各学校のセーフティ教室の内容ですが、今年度は、万引き防止、薬物乱用防止、ハイテク犯罪防止に関するものが多くなります。

子どもたちの健全育成のためにどのような取組をすべきなのか、また、子どもたちが安心して生活することができるよう安全な地域社会をつくるためにも、この機会を通して学校とともに考えていただければ幸いです。

今後の開催予定は別表のとおりです。多くの皆さまのご参加をお願いします。